

2024年7月11日

福島県南相馬市に機能性吸着材の製造工場を建設

日本国土開発株式会社(東京都港区虎ノ門4-3-13 代表取締役社長:林伊佐雄)が、福島県南相馬市において事業化を進めている機能性吸着材製造工場について、本年7月11日に起工式および安全祈願祭を執り行いました。

◆素材面からインフラリニューアル市場に参入

当社が保有する機能性吸着材は、鉄筋コンクリート構造物の劣化防止、長寿命化において高い性能を有しています。当社では鉄筋コンクリート構造物のリニューアルプロジェクトを推進しており、インフラリニューアル市場での活用に向けて製造工場を建設します。

現在、インフラリニューアル用途では、この機能性吸着材をエポキシ樹脂に混合して錆防止、ひび割れの補修材などの塩害劣化対策で用途展開をしていますが、今後は塗料や止水材などの化学的浸食対策での展開も検討しており、その他の用途開拓も進めていく方針です。

この事業は経済産業省の「自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金(第八次公募)」に採択されており、雇用の創出などによる地域活性化を目指し、南相馬市在住者5人の雇用を行います。機能性吸着材製造工場は、南相馬市小高区西部運動場跡に建設され、2025年春に操業開始する予定です。



当社保有の機能性吸着材

製造工場外観イメージ

工場概要

所在地：福島県南相馬市小高区飯崎字北原51(飯崎産業団地内)
常時雇用者：7人のうち新規雇用者5人(うち南相馬市内在住者5人)
建物：鉄骨造 地上1階
敷地面積：総面積 13,729.13㎡、工場 1,141.14㎡
設計施工：(株)中里工務店(所在地：福島県南相馬市)
スケジュール：着工 2024年7月、操業開始予定 2025年春

◆安全祈願祭および起工式について

7月11日に執り行われました安全祈願祭および起工式には、南相馬市の門馬和夫市長をはじめ多くの関係者の出席をいただきました。



安全祈願祭および起工式の模様。右画像は挨拶をする菊池泰・当社取締役執行役員戦略事業推進室長

◆福島県南相馬市と当社の関りについて

東日本大震災によって発生した福島第一原発事故で放出された放射性物質の除染事業において、日本国土開発は2012年から福島県南相馬市において国直轄における南相馬市の除染作業から中間貯蔵までの全工程を担当して復興に貢献しました。また、津波による被害を受けた河川堤防の修復工事なども手掛けています。

また、2016年には同市内に連結子会社である福島エコクリート株式会社を設立し、南相馬市をはじめとする福島・浜通りの雇用創出に向けた取り組みを行っています。同社は政府の「福島イノベーション・コースト構想」における環境・リサイクル分野の代表的企業に位置づけられており、震災復興事業への土木資材の供給、福島県内の石炭灰のリサイクルを展開しています。

◆ Bangladesh での取り組み

この機能性吸着材は水に含まれるヒ素などの有害物質を除去することが可能です。飲料水の水源である井戸水のヒ素汚染が深刻化する Bangladesh において、2020年から機能性吸着材を活用したヒ素除去プラントを建設して実証実験・ビジネステストを開始し、ヒ素濃度をWHO飲料水水質ガイドライン(10 μ g/L)以下まで低下させることに成功しています。

※南相馬市で製造する機能性吸着材と Bangladesh の水処理プラントで活用している機能性吸着材は、製造方法が異なります。

この件に関するお問い合わせ先

日本国土開発株式会社 サステナビリティ経営本部戦略部(広報担当) 電話: 050-1735-9468